

評 定 考 査 基 準

1 . 監督員（委託業務の場合は、業務担当課長、工事長又は助役）考査基準

(1)考査方法

評定者は、評定趣旨を十分に理解し尊重した上で、それぞれ総合的に評定を行う。

(2)評定点範囲

採点表（監督員用・業務担当課長、工事長又は助役用）の該当評価項目について、それぞれ総合的に判断して評定するものとする。

(3)事故等による減点

当該業務遂行中に請負（受託）者に起因する事故等が発生し指名停止等の措置を行った場合には、当該業務の総合評定点（100点満点換算）に対して、別表 - 1 を参考として - 15 点まで減点することができる。

別表 - 1 請負（受託）者に起因する事故等が発生した場合の減点基準

区 分	口頭注意	文書注意	指名停止1ヶ月まで	指名停止が1ヶ月を超える
考 査 点	- 3 点	- 5 点	- 10 点	- 15 点

【適応事例】

- ・ 入札前に提出した当該業務の技術提案書等が虚偽であった事実が判明した。
- ・ 発注者の承諾なしに当該業務に関する権利義務、成果物を第三者に譲渡又は承継、公開した。
- ・ 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。
- ・ 一括再委託、請負を行った。
- ・ 打ち合わせ協議または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。
- ・ 当該業務において過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。
- ・ 当該業務において安全管理の処分が不適切であったために、死傷者を生じさせた業務関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。
- ・ その他（理由： _____）

(4) 瑕疵修補及び損害賠償による減点

成果品に、請負者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約書のかし担保条項等に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合には、当該業務の総合評定点（100点満点換算）に対して、別表 - 2 を参考として - 20 点まで減点することができる。ただし、ここでいう瑕疵修補とは、軽微なミスの修正ではない大幅な修補をいう。また、総合評点が採点された後に当該事象が発生した場合は、遡って減点を実施するものとする。

別表 - 2 瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点基準

区 分	瑕疵修補又は損害賠償の実施	故意又は重大な過失により瑕疵修補又は損害賠償の実施
考 査 点	- 10 点	- 20 点

2 . 主任補助監督員、主任検査員、業務担当課長、主任検収員考査基準

評定にあたっては、当該業務の履行状況に応じ、加減点要素の各項目に従って、評定を行うものとする。（評価項目の追加、削除、もしくは評価比重の変更は行わない）

3 . 対象業務が複数の業務にまたがる場合の取扱い

対象業務が、「地質調査、単純調査等業務、測量作業」、「調査業務、計画業務」、「設計業務」のうちの複数の業務にまたがる場合においては、業務の目的、金額を勘案し、原則として主たる業務の考査をもって評定点とみなすものとする。

ここで、「地質調査、単純調査等業務、測量作業」、「調査業務、計画業務」、「設計業務」の3者のうち複数の業務にまたがる場合の「主たる業務」の取扱いについては、以下を参考とされたい。

- ・ 「地質調査、単純調査等業務、測量作業」、「調査業務、計画業務」、「設計業務」対象部分のどれかが500万円を超えるときには、その業務を「主たる業務」とみなすものとする。

- ・「地質調査、単純調査等業務、測量作業」、「調査業務、計画業務」、「設計業務」対象部分の複数が500万円を超えるとき、もしくはどれもが500万円を超えない場合には、業務の目的、金額を勘案して、「主たる業務」を1つ選定するものとする。これらの取扱いは、主任補助監督員及び主任検査員で統一するものとする。

4. 「単純調査業務」について

「調査業務、計画業務」は、広範かつ高度な専門的知識が要求される業務や高度な技術と豊かな経験が要求される業務といった比較的難易度の高い調査業務に対応するものであるため、これについては「調査業務、計画業務」採点表を使用するものとする。しかし、高度な技術力をそれほど必要としない単純なデータ処理業務や資料収集・整理業務等は、これを「単純調査業務」と定義し、「地質調査、単純調査等業務、測量作業」採点表を用いて評定するものとする。なお、「単純調査業務」の対象業務については、以下に示す例を参考とされたい。

・「単純調査業務」の例

各部門共通	単純なデータ収集整理業務 単純なデータ処理業務 書類編集的な業務 文献収集業務
道路	一般的な現地踏査 一般的な交通量観測業務 台帳整理等を目的とした資料収集業務
トンネル	クラック等変状の計測調査
施工計画及び施工設備 情報	施工関連資料の収集整理 定期的なデータメンテナンス 資料収集的な業務 単純なデータ作成のみの業務
防災 環境	資料収集的な業務 大気汚染、水質汚濁、騒音、振動等調査・分析方法がJIS等で規定されている測定業務

5. 採点表の選定について

対象業務が複数にまたがる場合の取り扱いや単純調査業務の選定は、主任補助監督員が決定する。

6. 技術者の評定について

各技術者の評定点は、業務に対する評定点のうち、以下の評価項目を抽出し、7.の重み付けを考慮して付加する。

なお、委託業務については、技術者評定を行わないものとする。

評価項目		管理技術者	担当技術者 (注1)	照査技術者	
専門技術力	提案力、改善力			-	
	業務執行技術力			-	
	施工時への配慮 (注2)	概略設計、予備設計			-
		詳細設計			-
	コスト把握能力 (注2)			-	
管理技術力	工程管理能力		-	-	
	品質管理能力		-		
	迅速性、弾力性、調整能力		-	-	
コミュニケーション力	説明力、プレゼンテーション力、協調性			-	
取組姿勢	責任感、積極性、倫理観			-	
	成果品の品質				

注) 1. 「担当技術者」はそれぞれ3人までとする。なお、現場作業責任者を定めた業務は、当該者を含め3人までとする。

2. 「施工時への配慮」及び「コスト把握能力」は、設計業務のみ評定の対象とする。

7. 総合評定点について

総合評定点を算出する際には、対象業務に応じて各評価項目ごとに以下の重み付けを考慮する。

評価項目		地質調査、単純調査等業務、 測量作業				調査業務、計画業務				設計業務				委託 業務 評定	
		業務 評定	技術者評定			業務 評定	技術者評定			業務 評定	技術者評定				
			管理	担当 (注1)	照査		管理	担当 (注1)	照査		管理	担当 (注1)	照査		
専門 技術力	提案力、改善力	2	2	2	-	2	2	2	-	2	2	2	-	2	
	業務遂行技術力	4	4	4	-	4	4	4	-	4	4	4	-	4	
	施工時 への配 慮(注2)	概略設計、 予備設計	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-
		詳細設計	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-
	コスト把握能力 (注2)	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	
管 理 技術力	工程管理能力	2	2	-	-	2	2	-	-	2	2	-	-	2	
	品質管理能力	2	2	-	2	2	2	-	2	2	2	-	2	2	
	迅速性、弾力性、 調整能力	1	1	-	-	1	1	-	-	1	1	-	-	1	
コミュ ニケー ション 力	説明力、プレゼン テーション力、協調性	1	1	1	-	1	1	1	-	1	1	1	-	1	
取組姿 勢	責任感、積極性、 倫理観	2	2	2	-	2	2	2	-	2	2	2	-	2	
成果品の品質		7	7	4	1	7	7	4	1	8	8	5	1	7	
合 計		21 (100%)	21 (100%)	13 (100%)	3 (100%)	21 (100%)	21 (100%)	13 (100%)	3 (100%)	24 (100%)	24 (100%)	16 (100%)	3 (100%)	21 (100%)	

注) 1. 「担当技術者」は3人までとする。なお、現場作業責任者を定めた業務は、当該者を含め3人までとする。

2. 「施工時への配慮」及び「コスト把握能力」は、設計業務のみ評定の対象とする。

参考：採点上の補足

採点表の評価細目で、“高度な技術レベル”“難易度の高い業務”の項目があるが、これに関しては「設計・コンサルタント業務等入札契約問題検討委員会 中間とりまとめ」に示される「知識」の高い業務かつ/又は「構想力・応用力」の高い業務を指す。以下、標準的な業務内容に基づいた例を示す。

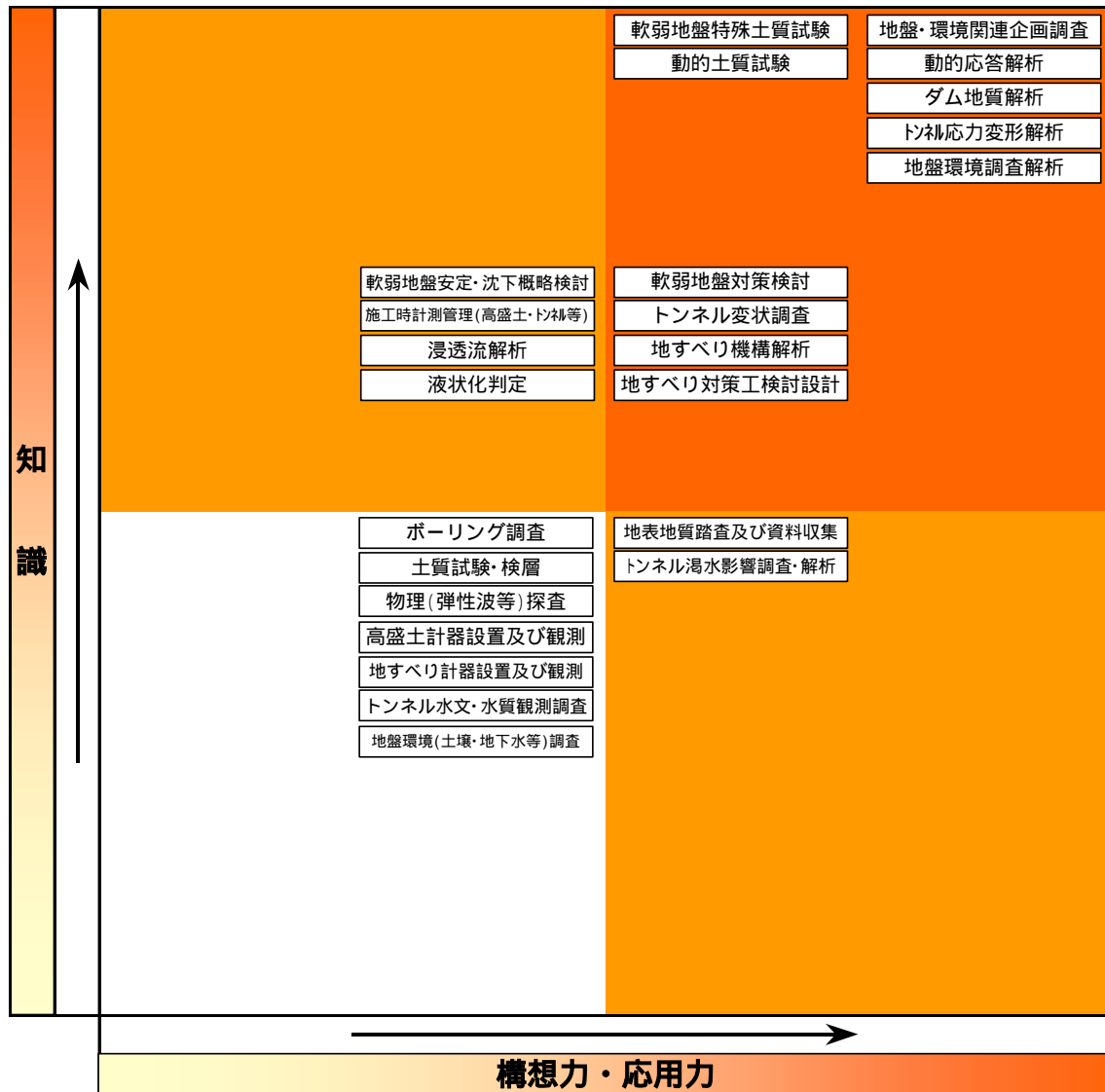


図 地質調査の例

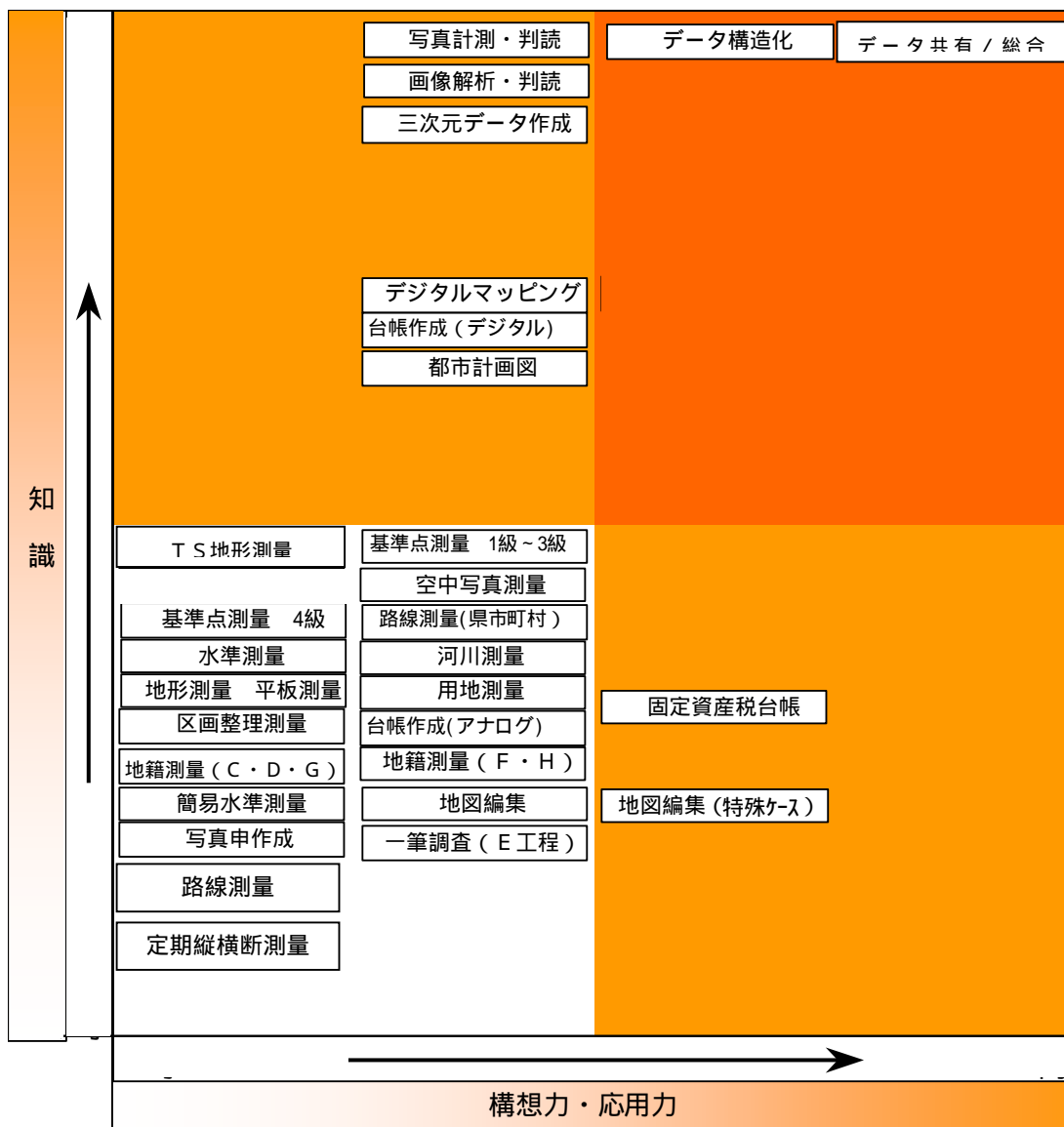


図 測量作業の例

8. 業務評価項目

評価項目	評価の視点	(1)地質調査、単純調査等業務、測量作業				(2)調査業務、計画業務				(3)設計業務				(4)委託業務						
		主任補助監督員	監督員	主任検査員	評定点	主任補助監督員	監督員	主任検査員	評定点	主任補助監督員	監督員	主任検査員	評定点	業務担当課長、 工事長または助役	業務担当課長、 工事長または助役	主任検査員	評定点			
専門技術力	提案力、改善力 【加点評価】	業務着手段階における業務特性等の考慮	1			1				1				1						
		業務遂行段階における提案	1			1				1				1						
		業務遂行上必要となる課題の提案	1			1				1				1						
		業務内容等改善の提案	1			1				1				1						
		小計	100点満点			100点満点				100点満点				100点満点						
	業務執行技術力	目的と内容の理解																		
		必要情報の把握																		
		検討項目、検討手法 打ち合わせ資料の内容 【減点評価】	2			2				2				2						
		十分な技術力																		
		小計	100点満点	100点満点	100点満点	100点満点	100点満点	100点満点	100点満点	100点満点	100点満点	100点満点	100点満点	100点満点	100点満点	100点満点	100点満点	100点満点	100点満点	
	施工時への配慮 (設計時評価、 設計業務を対象に 評定する。 イ、ロのいずれか を選択する。)	イ.『概略設計、 予備設計』 の場合	施工に関する一般的な知識																	
			施工条件等の把握																	
		ロ.『詳細設計』 の場合	施工に関する一般的な知識																	
			施工条件等の把握																	
			施工計画 (施工方法、仮設備計画)																	
小計																				
コスト把握能力 (設計業務を対象に評定する。)	コスト把握能力																			
	小計																			
工程管理能力 【減点評価】	実施手順、工程計画	2			2				2				2							
	実施体制	2			2				2				2							
	打合せ内容の理解、記録	2			2				2				2							
	内部関係者への情報伝達	2			2				2				2							
	工程管理	2			2				2				2							
小計	100点満点			100点満点				100点満点				100点満点								
品質管理能力 【詳細設計以外は加点評価】	ミス防止の実施	1			1				1				1							
	小計	100点満点			100点満点				100点満点				100点満点							
迅速性、弾力性、調整能力 【加点評価】	当初計画の変更	1			1				1				1							
	関連事業者間の調整	1			1				1				1							
	地元住民との合意形成	1			1				1				1							
小計	100点満点			100点満点				100点満点				100点満点								
コミュニケーション力	説明力、プレゼンテーション力、協調性	理解しやすい説明・プレゼンテーション (資料)																		
		理解しやすい説明・プレゼンテーション (対応)																		
	説明を補う努力 円滑な業務遂行への努力 【加点評価】	1			1				1				1							
	小計	100点満点			100点満点				100点満点				100点満点							
取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性																		
		責任感、積極性、倫理観																		
		小計	100点満点	100点満点		100点満点	100点満点		100点満点	100点満点			100点満点	100点満点						
結果評価	成果品の品質	目的の達成度																		
		的確なとりまとめ																		
		ミスの有無																		
		小計	100点満点			100点満点				100点満点				100点満点						
総合評定点の算定	の評定点の加重平均点		の評定点の加重平均点				の評定点の加重平均点				の評定点の加重平均点									
	事故等による減点		事故等による減点				事故等による減点				事故等による減点									
	瑕疵修補又は損害賠償による減点		瑕疵修補又は損害賠償による減点				瑕疵修補又は損害賠償による減点				-									
	総合評定点		総合評定点				総合評定点				総合評定点									

注) 1.各評価項目の「業務評価」は少数第一位までとする。
 2.「の評定点の加重平均点」は、少数第一位を四捨五入し整数とする。
 3.委託業務においては、成果品の品質を報告書の出来ばえに読み替える。

は、評価対象外。
 は、必須評価項目。
 は、選択評価項目。
 1 は、加点評価項目。
 2 は、減点評価項目。

9. 採点表

(1) 地質調査、単純調査等業務、測量作業 [主任補助監督員用]

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			標準							
			優	標準	劣	1.0	0.8			0.6
提案力、改善力 【加減評価】	業務着手段階における業務特性等の考慮	20	評価細目フィッ数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 当該作業（業務）の仕様や発注者からの指示等を満たす提案がなされた。 当該作業（業務）の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に関する提案がなされた。注1) 	
	業務遂行段階における提案	40	評価細目フィッ数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 作業（業務）遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レベルに基づく提案がなされた。注1) 	
	業務遂行上必要となる課題の提案	20	評価細目フィッ数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 当該作業（業務）で不足する課題が抽出された。 検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。 	
	業務内容等改善の提案	20	評価細目フィッ数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 作業（業務）の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 作業（業務）の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。 	
	小計	100								
プロセス評価 専門技術力	業務執行技術力	目的と内容の理解	20	評価細目フィッ数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 業務（調査）計画書に必要事項が記載されていた。注2) 当該作業（業務）の目的、内容が理解されていた。 業務（調査）計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。注2) 特記仕様書等に示された当該作業（業務）と関連する他の作業（業務）、事業が理解されていた。
		必要情報の把握	20	評価細目フィッ数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 作業（業務）着手時点において、適切に資料等が整備された。 作業（業務）実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 作業（業務）遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 作業（業務）遂行段階で、当該作業（業務）に有意な情報が自主的に提供された。
		検討項目、検討手法	20	評価細目フィッ数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 検討項目は、特記仕様書等の設計図書項目を満足していた。 採用された検討手法の技術的内容は、作業（業務）の目的に適合していた。 作業（業務）目的に照らし必要な調査又は作業項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 提案された作業（業務）手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。注1)
		打ち合わせ資料の内容 【減点評価】	20	評価細目フィッ数=0 「0.6」 " =1 「0.4」、" =2 「0.2」						<ul style="list-style-type: none"> 打ち合わせ資料に、作業（業務）の各段階で必要とされる内容が盛り込まれていなかった。 打ち合わせ資料に大きなミスがあった。
		十分な技術力	20	評価細目フィッ数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 作業（業務）に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 特記仕様書等に示された当該作業（業務）固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。（測量においては、作業に応じた機器等が配置されていたこともあわせて評価する） 作業（業務）遂行段階において発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。注1)
小計	100									

注1) 考查基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

注2) 測量作業においては「J測量作業規定第10条または第113条に基づく作業計画をいう。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			標準							
			優	標準	劣					
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2			
プロセス評価 管理技術力	工程管理能力 【減点評価】	実施手順、 工程計画	30	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.4」、"=2 「0.2」						<ul style="list-style-type: none"> ・契約締結後14日以内に作業（業務）工程表が提出されないなど、速やかに作業（業務）着手がなされなかった。 ・作業（業務）実施方針及び作業（業務）工程表には、設計図書に示された事項が適切に反映されていなかった。
		実施体制	10	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.4」、"=2 「0.2」						<ul style="list-style-type: none"> ・契約図書に基づき、管理技術者届け及び調査（業務）計画書が提出されなかった。注） ・調査（業務）計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が履行されなかった。注）
		打合せ内容の理解、記録	10	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.4」、"=2 「0.2」						<ul style="list-style-type: none"> ・打合せ記録簿が提出されなかった。 ・打合せ記録簿の記載内容が打ち合わせ結果を適切に反映しなかった。
		内部関係者への情報伝達	10	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.4」、"=2 「0.2」						<ul style="list-style-type: none"> ・受注者内の意志疎通が不十分であり、指示や打ち合わせ事項が資料等に反映されなかった。 ・受注者内の意志疎通が不十分であり、同様な指示を何度も実施した。
		工程管理	40	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.4」、"=2 「0.2」						<ul style="list-style-type: none"> ・工程に遅れが目立ち、履行期限内に納品されない恐れがあり、繰り返し指示を行った。（発注者側に遅延要因がある場合を除く） ・工程に遅れが目立ち、関連する他の業務・事業等に影響を及ぼした。（発注者側に遅延要因がある場合を除く）
	小計	100								
品質管理能力 【加点点評価】	ミス防止の実施	100	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.8」、"=2 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・第三者（管理技術者、担当者、照査技術者）以外のチェック等自主的な品質管理の努力がなされていた。 ・品質管理のためのシステム（ex. ISO9001）が構築されている部署で作業（業務）を行った。 	
	小計	100								

注）測量作業においてはJH測量作業規定第10条または第113条に基づく作業計画をいう。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優 標 劣						
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
管理技術力	迅速性、弾力性、調整能力 【加点評価】	当初計画の変更	40	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.8」、"=2 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・業務遂行中に生じた、当初工程計画からの変更要請に迅速に対応した。 ・その結果生じた検討（作業）内容が特に優れていた。
		関連事業者間の調整	30	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.8」、"=2 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整のための資料が円滑に作成された。 ・作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。
		地元住民との合意形成	30	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.8」、"=2 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・発注者からの指示に基づき、地元住民との合意形成のための資料が円滑に作成された。 ・作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。
		小計	100						
プロセス評価	説明力、プレゼンテーション力、協調性	理解しやすい説明・プレゼンテーション（資料）	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 "=1 「0.4」、"=2 「0.6」 "=3 「0.8」、"=4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 ・図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 ・資料の内容が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 ・資料の要約が作成されており、容易に内容を捉えることができた。
		理解しやすい説明・プレゼンテーション（対応）	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 "=1 「0.4」、"=2 「0.6」 "=3 「0.8」、"=4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・打合せ開始時に、打合せの趣旨・目的が説明された。 ・質問に対する確かな回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 ・一般論と当該作業（業務）固有の議論が明確に区別されていた。 ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
		説明を補う努力	20	評価細目チェック数=0 「0.2」 "=1 「0.4」、"=2 「0.6」 "=3 「0.8」、"=4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。 ・説明が不十分若しくは説明当事者の説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。 ・相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 ・説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。
		円滑な業務遂行への努力【加点評価】	20	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.8」、"=2 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・密に作業（業務）の進捗状況等が発注者に報告されていた。 ・作業（業務）遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。
		小計	100						

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目			
			優 標 劣									
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2					
プロセス評価	取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性	100	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・管理技術者、照査技術者、担当技術者として、責任逃れの言動は無かった。注) ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 ・業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。 		
					小計	100						
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・作業（業務）遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・作業（業務）成果は、作業（業務）目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い作業（業務）に対し必要な作業（業務）成果が得られた。注) 			
				的確なとりまとめ	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・設計図書にある検討項目、作業（業務）遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 ・設計図書にある事項、作業（業務）遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめている。 	
						ミスの有無	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」				
				小計	100							

注) 考查基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

(1) 地質調査、単純調査等業務、測量作業 (監督員用)

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優 標 準 劣						
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」(基準点)、「0.8」、「1.0」を付与する。					<ul style="list-style-type: none"> ・当該作業(業務)の目的と内容の理解について、特に評価できるものであった。 ・当該作業(業務)に必要な情報の把握について、特に評価できるものであった。 ・当該作業(業務)に対する検討項目及び検討手法について、特に評価できるものであった。 ・当該作業(業務)の打合せ資料の内容について、特に評価できるものであった。 ・当該作業(業務)に必要とされる技術力を十分に発揮し、特に評価できるものであった。 ・その他(理由:)
		小計		100					
		取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性、倫理観	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」(基準点)、「0.8」、「1.0」を付与する。			
小計	100								

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			優 標 準 劣							
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2			
プロセス評価	業務執行技術力	検討項目、検討手法	50	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・検討項目は、特記仕様書等の設計図書項目を満足していた。 ・採用された検討手法の技術的内容は、作業（業務）の目的に適合していた。 ・作業（業務）目的に照らし必要な調査又は作業項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ・提案された作業（業務）手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。注) 	
		十分な技術力	50	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・作業（業務）に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 ・特記仕様書等に示された当該作業（業務）固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。（測量においては、作業に応じた機器等が配置されていたこともあわせて評価する） ・作業（業務）遂行段階において発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 ・新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。注)
		小計	100							
	コミュニケーション	説明力、プレゼンテーション力、協調性	説明力、プレゼンテーション力、協調性	100	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・質問に対する確かな回答がなされ、一般論と当該作業（業務）固有の議論が明確に区別されていた。 ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 ・説明が不十分若しくは説明当事者の説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。
			小計	100						
	結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・作業（業務）遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・作業（業務）成果は、作業（業務）目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い作業（業務）に対し必要な作業（業務）成果が得られた。注)
的確なとりまとめ			30	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・設計図書にある検討項目、作業（業務）遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 ・設計図書にある事項、作業（業務）遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。 	
ミスの有無			30	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						
小計		100								

注) 考查基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

(2) 調査業務、計画業務 (主任補助監督員用)

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優 標 準 劣						
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
提案力、改善力 〔加点点評価〕	業務着手段階における業務特性等の考慮	20	評価細目チェック数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」						・当該業務の仕様や発注者からの指示等を満たす提案がなされた。 ・当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に関する提案がなされた。注)
	業務遂行段階における提案	40	評価細目チェック数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」						・業務遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 ・関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レベルに基づく提案がなされた。注)
	業務遂行上必要となる課題の提案	20	評価細目チェック数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」						・当該業務で不足する課題が抽出された。 ・検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。
	業務内容等改善の提案	20	評価細目チェック数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」						・業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 ・業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
	小 計	100							
業務執行技術力	目的と内容の理解	20	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						・業務(調査)計画書に必要な事項が記載されていた。 ・当該業務の目的、内容が理解されていた。 ・業務(調査)計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 ・特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されていた。
	必要情報の把握	20	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						・業務着手時点において、適切に資料等が整備された。 ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 ・業務遂行段階で、新たなに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 ・業務遂行段階で、当該業務に有意な情報が自主的に提供された。
	検討項目、検討手法	20	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						・検討項目は、特記仕様書等の設計図書項目を満足していた。 ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ・提案された検討手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。注)
	打ち合わせ資料の内容 〔減点点評価〕	20	評価細目チェック数=0 「0.6」 " =1 「0.4」、" =2 「0.2」						・打ち合わせ資料に、業務の各段階で必要とされる内容が盛り込まれていなかった。 ・打ち合わせ資料に大きなミスがあった。
	十分な技術力	20	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						・業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 ・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 ・業務遂行段階において発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 ・新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。注)
小 計	100								

注) 考查基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目		
			優 標 劣								
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2				
プロセス評価	管理技術力	工程管理能力 【減点評価】	実施手順、 工程計画	30	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.4」、"=2 「0.2」					<ul style="list-style-type: none"> ・契約締結後14日以内に業務工程表が提出されないなど、速やかに業務着手がなされなかった。 ・業務実施方針及び業務工程表には、設計図書に示された事項が適切に反映されていなかった。 	
			実施体制	10	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.4」、"=2 「0.2」						<ul style="list-style-type: none"> ・契約図書に基づき、管理技術者届け及び業務計画書が提出されなかった。 ・業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が履行されなかった。
			打合せ内容の理解、記録	10	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.4」、"=2 「0.2」						
			内部関係者への情報伝達	10	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.4」、"=2 「0.2」						<ul style="list-style-type: none"> ・受注者内の意志疎通が不十分であり、指示や打ち合わせ事項が資料等に反映されなかった。 ・受注者内の意志疎通が不十分であり、同様な指示を何度も実施した。
			工程管理	40	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.4」、"=2 「0.2」						
	小計	100									
	品質管理能力 【加点評価】	ミス防止の実施	100	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.8」、"=2 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・第三者（管理技術者、担当者、照査技術者）以外のチェック等自主的な品質管理の努力がなされていた。 ・品質管理のためのシステム（ex. ISO9001）が構築されている部署で業務を行った。 		
		小計	100								

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優 標 劣						
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
管理技術力	迅速性、 弾力性、 調整能力 【加点評価】	当初計画の変更	40	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.8」、"=2 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・業務遂行中に生じた、当初工程計画からの変更要請に迅速に対応した。 ・その結果生じた検討内容が特に優れていた。
		関連事業者間の調整	30	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.8」、"=2 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整のための資料が円滑に作成された。 ・作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。
		地元住民との合意形成	30	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.8」、"=2 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・発注者からの指示に基づき、地元住民との合意形成のための資料が円滑に作成された。 ・作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。
	小計	100							
プロセス評価	説明力、 プレゼンテーション力、 協調性	理解しやすい説明・プレゼンテーション（資料）	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 "=1 「0.4」、"=2 「0.6」 "=3 「0.8」、"=4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 ・図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 ・資料の内容が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 ・資料の要約が作成されており、容易に内容を捉えることができた。
		理解しやすい説明・プレゼンテーション（対応）	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 "=1 「0.4」、"=2 「0.6」 "=3 「0.8」、"=4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・打合せ開始時に、打合せの趣旨・目的が説明された。 ・質問に対する確かな回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 ・一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
		説明を補う努力	20	評価細目チェック数=0 「0.2」 "=1 「0.4」、"=2 「0.6」 "=3 「0.8」、"=4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。 ・説明が不十分若しくは説明当事者の説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。 ・相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 ・説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。
		円滑な業務遂行への努力【加点評価】	20	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.8」、"=2 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・密に業務の進捗状況等が発注者に報告されていた。 ・業務遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。
		小計	100						

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			優 標 劣							
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2			
プロセス評価	取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性	100	評価細目フィッ数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・管理技術者、照査技術者、担当技術者として、責任逃れの言動は無かった。 ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 ・業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
			小計	100						
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目フィッ数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。(注) ・設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 ・設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。 ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。 ・誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった若しくはミスがなかった。 ・修正が必要なミスは無かった。 ・ミスは無く、必要書類等も完備されていた。 	
		的確なとりまとめ	30	評価細目フィッ数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						
		ミスの有無	30	評価細目フィッ数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						
		小計	100							

注) 考查基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

(2) 調査業務、計画業務 (監督員用)

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優 標 劣						
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」(基準点)、「0.8」、「1.0」を付与する。					<ul style="list-style-type: none"> ・当該業務の目的と内容の理解について、特に評価できるものであった。 ・当該業務に必要な情報の把握について、特に評価できるものであった。 ・当該業務に対する検討項目及び検討手法について、特に評価できるものであった。 ・当該業務の打合せ資料の内容について、特に評価できるものであった。 ・当該業務に必要とされる技術力を十分に発揮し、特に評価できるものであった。 ・その他(理由:)
		小計	100						
プロセス評価	取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」(基準点)、「0.8」、「1.0」を付与する。					<ul style="list-style-type: none"> ・企業として積極的に技術の研鑽に取り組んでいる。 ・業務遂行にあたって、取り組みへの積極性・責任感に対して評価できるものであった。 ・地域への貢献等に関して、特に評価できるものであった。 ・業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により、業務を完成させた。 ・その他(理由:)
		小計	100						

(2) 調査業務、計画業務 (主任検査員用)

(1/1)

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			標準							
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2			
プロセス評価	業務執行技術力	検討項目、検討手法	50	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・検討項目は、特記仕様書等の設計図書項目を満足していた。 ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ・提案された検討手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。(注) 	
		十分な技術力	50	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 ・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 ・業務遂行段階において発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 ・新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。(注)
		小計	100							
	コミュニケーション	説明力、プレゼンテーション力、協調性	100	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・質問に対する的確な回答がなされ、一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 ・説明が不十分若しくは説明当事者の説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。 	
小計	100									
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。(注) 	
		的確なとりまとめ	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 ・設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。
		ミスの有無	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						
	小計	100								

注) 考查基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

(3) 設計業務 [主任補助監督員用]

(1/)

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			標準						
			優	標準	劣				
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
提案力、改善力 〔加点点評価〕	業務着手段階における業務特性等の考慮	20	評価細目フィク数=0 「0.6」 "=1 「0.8」、"=2 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・当該業務の仕様や発注者からの指示等を満たす提案がなされた。 ・当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に関する提案がなされた。注)
	業務遂行段階における提案	40	評価細目フィク数=0 「0.6」 "=1 「0.8」、"=2 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・業務遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 ・関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レベルに基づく提案がなされた。注)
	業務遂行上必要となる課題の提案	20	評価細目フィク数=0 「0.6」 "=1 「0.8」、"=2 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・当該業務で不足する課題が抽出された。 ・検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。
	業務内容等改善の提案	20	評価細目フィク数=0 「0.6」 "=1 「0.8」、"=2 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 ・業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
	小計	100							
プロセス評価 専門技術力 業務執行技術力	目的と内容の理解	20	評価細目フィク数=0 「0.2」 "=1 「0.4」、"=2 「0.6」 "=3 「0.8」、"=4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・業務計画書に必要事項が記載されていた。 ・当該業務の目的、内容が理解されていた。 ・業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 ・特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されていた。
	必要情報の把握	20	評価細目フィク数=0 「0.2」 "=1 「0.4」、"=2 「0.6」 "=3 「0.8」、"=4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・業務着手時点において、適切に資料等が整備された。 ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 ・業務遂行段階で、新たなに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 ・業務遂行段階で、当該業務に有意な情報が自主的に提供された。
	検討項目、検討手法	20	評価細目フィク数=0 「0.2」 "=1 「0.4」、"=2 「0.6」 "=3 「0.8」、"=4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・検討項目は、特記仕様書等の設計図書の内容を満足していた。 ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ・提案された検討手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。注)
	打ち合わせ資料の内容 〔減点点評価〕	20	評価細目フィク数=0 「0.6」 "=1 「0.4」、"=2 「0.2」						<ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせ資料に、業務の各段階で必要とされる内容が盛り込まれていなかった。 ・打ち合わせ資料に大きなミスがあった。
	十分な技術力	20	評価細目フィク数=0 「0.2」 "=1 「0.4」、"=2 「0.6」 "=3 「0.8」、"=4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 ・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 ・業務遂行段階において発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 ・新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。注)
小計	100								

注) 考查基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			標準						
			優	標準	劣				
1.0	0.8	0.6	0.4	0.2					
プロセス評価 専門技術力	施工時への配慮 〔設計時評価〕 (設計業務を対象に評定する。 イ、ロのいずれかを選択する。)	イ・『概略設計、予備設計の場合』	施工に関する一般的な知識	60	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」		<ul style="list-style-type: none"> 設計、図面作成において留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。 施工方法の検討において一般的に留意すべき点を理解していた。 施工方法の内容及び長所・短所に関する一般的な知識を有していた。 施工方法が周辺環境におよぼす一般的な影響を理解していた。 		
			施工条件の把握	40	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」		<ul style="list-style-type: none"> 当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 当該地域の環境特性を把握していた。 担当者の施工に係わる要求事項を把握していた。 契約図書及び発注者に指示された施工に係わる関係機関等の情報を把握した。 		
		小計	100						
		ロ・『詳細設計の場合』	施工に関する一般的な知識	40	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」		<ul style="list-style-type: none"> 設計、図面作成において留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。 施工方法の検討において一般的に留意すべき点を理解していた。 施工方法の内容及び長所・短所に関する一般的な知識を有していた。 施工方法が周辺環境におよぼす一般的な影響を理解していた。 		
			施工条件の把握	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」		<ul style="list-style-type: none"> 当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 当該地域の環境特性を把握していた。 担当者の施工に係わる要求事項を把握していた。 契約図書及び発注者に指示された施工に係わる関係機関等の情報を把握した。 		
	施工計画 (施工方法、仮設備計画)		30	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」		<ul style="list-style-type: none"> 必要事項を記載した施工計画が提案された。 施工条件を的確に踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 工事が周辺環境に及ぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。 当該工事箇所における施工上の留意事項が、重要度別かつ施工段階毎に適切に整理する提案がなされた。 			
	コスト把握能力 (設計業務を対象に評定する。)	コスト把握能力	コスト把握能力	100	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」		<ul style="list-style-type: none"> 工事費に関するコスト把握能力を有していた。 現地条件などの固有条件がコストに及ぼす影響を理解していた。 コスト縮減に係わる提案があった。 ライフサイクルコストや新技術・新工法等の総合的なコストを念頭においたコスト縮減に係わる提案があった。 		
			小計	100					

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			標準						
			優	標準	劣				
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価 管理技術力	工程管理能力 〔減点評価〕	実施手順、 工程計画	30	評価細目チェック数=0 「0.6」 " =1 「0.4」、" =2 「0.2」					・ 契約締結後14日以内に業務工程表が提出されないなど、速やかに業務着手がなされなかった。 ・ 業務実施方針及び業務工程表には、設計図書に示された事項が適切に反映されていなかった。
		実施体制	10	評価細目チェック数=0 「0.6」 " =1 「0.4」、" =2 「0.2」					・ 契約図書に基づき、管理技術者届け及び業務計画書が提出されなかった。 ・ 業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が履行されなかった。
		打合せ内容の 理解、記録	10	評価細目チェック数=0 「0.6」 " =1 「0.4」、" =2 「0.2」					・ 打合せ記録簿が提出されなかった。 ・ 打合せ記録簿の記載内容が打ち合わせ結果を適切に反映してなかった。
		内部関係者 への情報伝達	10	評価細目チェック数=0 「0.6」 " =1 「0.4」、" =2 「0.2」					・ 受注者内の意志疎通が不十分であり、指示や打ち合わせ事項が資料等に反映されなかった。 ・ 受注者内の意志疎通が不十分であり、同様な指示を何度も実施した。
		工程管理	40	評価細目チェック数=0 「0.6」 " =1 「0.4」、" =2 「0.2」					・ 工程に遅れが目立ち、履行期限内に納品されない恐れがあり、繰り返し指示を行った。（発注者側に遅延要因がある場合を除く） ・ 工程が業務計画書どおりでなく、関連する他の業務・事業等に影響を及ぼした。（発注者側に遅延要因がある場合を除く）
	小計	100							
品質管理能力	イ・『概要設計』の 設計書	ミス防止の 実施 〔加点評価〕	100	評価細目チェック数=0 「0.6」 " =1 「0.8」、" =2 「1.0」					・ 第三者（管理技術者、担当者、照査技術者）以外のチェック等自主的な品質管理の努力がなされていた。 ・ 品質管理のためのシステム(ex. ISO9001)が構築されている部署で業務を行った。
		小計	100						
	ロ・『詳細設計』の 設計書	ミス防止の 実施	100	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					・ 業務計画書等に、照査体制が記載されていた。 ・ 業務計画書等に照査担当者が配置されていた。 ・ チェックリスト等の品質管理の記録により、照査が実施されたことを確認できた。 ・ 品質管理のためのシステム(ex. ISO9001)が構築されている部署で業務を行った。
小計		100							

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			標準						
			優	標準	劣				
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
管理技術力	迅速性、弾力性、調整能力 【加点評価】	当初計画の変更	40	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.8」、"=2 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・業務遂行中に生じた、当初工程計画からの変更要請に迅速に対応した。 ・その結果生じた検討内容が特に優れていた。
		関連事業者間の調整	30	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.8」、"=2 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整のための資料が円滑に作成された。 ・作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。
		地元住民との合意形成	30	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.8」、"=2 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・発注者からの指示に基づき、地元住民との合意形成のための資料が円滑に作成された。 ・作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。
		小計	100						
プロセス評価	説明力、プレゼンテーション力、協調性	理解しやすい説明・プレゼンテーション（資料）	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 "=1 「0.4」、"=2 「0.6」 "=3 「0.8」、"=4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 ・図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 ・資料の内容が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 ・資料の要約が作成されており、容易に内容を捉えることができた。
		理解しやすい説明・プレゼンテーション（対応）	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 "=1 「0.4」、"=2 「0.6」 "=3 「0.8」、"=4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・打合せ開始時に、打合せの趣旨・目的が説明された。 ・質問に対する確かな回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 ・一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
		説明を補う努力	20	評価細目チェック数=0 「0.2」 "=1 「0.4」、"=2 「0.6」 "=3 「0.8」、"=4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。 ・説明が不十分若しくは説明当事者の説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。 ・相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 ・説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。
		円滑な業務遂行への努力【加点評価】	20	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.8」、"=2 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・密に業務の進捗状況等が発注者に報告されていた。 ・業務遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。
		小計	100						

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
				優 標 劣						
				1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性	100	評価細目フィク数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・管理技術者、照査技術者、担当技術者として、責任逃れの言動は無かった。 ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 ・業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
			小計	100						
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目フィク数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。(注) ・設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 ・設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。 ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。 ・誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった若しくはミスがなかった。 ・修正が必要なミスは無かった。 ・ミスは無く、必要書類等も完備されていた。 	
		的確なとりまとめ	30	評価細目フィク数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						
		ミスの有無	30	評価細目フィク数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						
		小計	100							

注) 考查基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

(3) 設計業務 (監督員用)

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優 標 準 劣						
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」(基準点)、「0.8」、「1.0」を付与する。					<ul style="list-style-type: none"> ・当該業務の目的と内容の理解について、特に評価できるものであった。 ・当該業務に必要な情報の把握について、特に評価できるものであった。 ・当該業務に対する検討項目及び検討手法について、特に評価できるものであった。 ・当該業務の打合せ資料の内容について、特に評価できるものであった。 ・当該業務に必要とされる技術力を十分に発揮し、特に評価できるものであった。 ・その他(理由:)
		小計	100						
	取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性、倫理観	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」(基準点)、「0.8」、「1.0」を付与する。				
小計			100						

(3) 設計業務 (主任検査員用)

(1/1)

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			標準							
			優	標準	劣					
1.0	0.8	0.6	0.4	0.2						
プロセス評価	専門技術力 業務執行技術力	検討項目、検討手法	50	評価細目チェック数=0 「0.2」 "=1 「0.4」、"=2 「0.6」 "=3 「0.8」、"=4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・検討項目は、特記仕様書等の設計図書項目を満足していた。 ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ・提案された検討手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。(注) 	
		十分な技術力	50	評価細目チェック数=0 「0.2」 "=1 「0.4」、"=2 「0.6」 "=3 「0.8」、"=4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 ・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 ・業務遂行段階において発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 ・新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。(注)
		小計	100							
	コミュニケーション 説明力、プレゼンテーション力、協調性	説明力、プレゼンテーション力、協調性	100	評価細目チェック数=0 「0.2」 "=1 「0.4」、"=2 「0.6」 "=3 「0.8」、"=4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・質問に対する確かな回答がなされ、一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 ・説明が不十分若しくは説明当事者の説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。 	
小計	100									
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数=0 「0.2」 "=1 「0.4」、"=2 「0.6」 "=3 「0.8」、"=4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。(注) 	
		的確なとりまとめ	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 "=1 「0.4」、"=2 「0.6」 "=3 「0.8」、"=4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 ・設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。
		ミスの有無	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 "=1 「0.4」、"=2 「0.6」 "=3 「0.8」、"=4 「1.0」						
	小計	100								

注) 考查基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

(4) 委託業務 [業務担当課長、工事長又は助役用]

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優 標 劣						
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
提案力、改善力 〔加点点評価〕	業務着手段階における業務特性等の考慮	20	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.8」、"=2 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 当該業務の実施計画書や委託者からの指示等を満たす提案がなされた。 当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に関する提案がなされた。
	業務遂行段階における提案	40	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.8」、"=2 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 業務遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レベルに基づく提案がなされた。
	業務遂行上必要となる課題の提案	20	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.8」、"=2 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 当該業務で不足する課題が抽出された。 検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。
	業務内容等改善の提案	20	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.8」、"=2 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
	小 計	100							
業務執行技術力	目的と内容の理解	20	評価細目チェック数=0 「0.2」 "=1 「0.4」、"=2 「0.6」 "=3 「0.8」、"=4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 当該業務の目的、内容が理解されていた。 実施計画書を理解した、適切な作業予定表が出された。 実施計画書を理解し、受託基準に則した適切な見積書が出された。 当該業務の目的を理解し、適切な委員の選定がなされていた。
	必要情報の把握	20	評価細目チェック数=0 「0.2」 "=1 「0.4」、"=2 「0.6」 "=3 「0.8」、"=4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 業務着手時点において、適切に資料等が整備された。 業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 業務遂行段階で、新たなに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 業務遂行段階で、当該業務に有意な情報が自主的に提供された。
	検討項目、検討手法	20	評価細目チェック数=0 「0.2」 "=1 「0.4」、"=2 「0.6」 "=3 「0.8」、"=4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 検討項目は、実施計画書の項目を満足していた。 採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 提案された検討手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。
	打ち合わせ資料の内容 〔減点点評価〕	20	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.4」、"=2 「0.2」						<ul style="list-style-type: none"> 打ち合わせ資料に、業務の各段階で必要とされる内容が盛り込まれていなかった。 打ち合わせ資料に大きなミスがあった。
	十分な技術力	20	評価細目チェック数=0 「0.2」 "=1 「0.4」、"=2 「0.6」 "=3 「0.8」、"=4 「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 実施契約書に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 業務遂行段階において委託者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。
小 計	100								

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			優 標 劣							
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2			
プロセス評価	管理技術力	工程管理能力 【減点評価】	実施手順、 工程計画	30	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.4」、"=2 「0.2」					<ul style="list-style-type: none"> ・契約締結後すみやかに作業予定表が提出されないなど、速やかに業務着手がなされなかった。 ・作業予定表及び資金計画書には、実施計画書に示された事項が適切に反映されていないかった。
			実施体制	10	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.4」、"=2 「0.2」					<ul style="list-style-type: none"> ・業務の実務者が適切に配置されていないかった。 ・業務の総括者が適切に配置されていないかった。
			打合せ内容の理解、記録	10	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.4」、"=2 「0.2」					<ul style="list-style-type: none"> ・打合せ記録簿が提出されなかった。 ・打合せ記録簿の記載内容が打ち合わせ結果を適切に反映してなかった。
			内部関係者への情報伝達	10	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.4」、"=2 「0.2」					<ul style="list-style-type: none"> ・受託者内の意志疎通が不十分であり、指示や打ち合わせ事項が資料等に反映されなかった。 ・受託者内の意志疎通が不十分であり、同様な指示を何度も実施した。
			工程管理	40	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.4」、"=2 「0.2」					<ul style="list-style-type: none"> ・工程に遅れが目立ち、履行期限内に完了しない恐れがあり、繰り返し指示を行った。（委託者側に遅延要因がある場合を除く） ・工程が実施計画書どおりでなく、関連する他の業務・事業等に影響を及ぼした。（委託者側に遅延要因がある場合を除く）
	小計	100								
	品質管理能力 【加点評価】	ミス防止の実施	100	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.8」、"=2 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・業務従事者以外のチェック等自主的な品質管理の努力がなされていた。 ・品質管理のためのシステム(ex. ISO9001)が構築されている部署で業務を行った。 	
		小計	100							

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優 標 劣						
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
管理技術力	迅速性、 弾力性、 調整能力 【加点評価】	当初計画の変更	40	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.8」、"=2 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・業務遂行中に生じた、当初工程計画からの変更要請に迅速に対応した。 ・その結果生じた検討内容が特に優れていた。
		他機関等との調整	30	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.8」、"=2 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・委託者からの指示等に基づき、関連する他機関の資料収集及び情報取得等が円滑に行われた。 ・収集された資料の要点等が特に良くとりまとめられていた。
		委員会運営の調整	30	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.8」、"=2 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・委員会の運営に際し、委員長等に対し事前に資料説明及び運営に係る調整等を行い、円滑な委員会が運営された。 ・作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。
		小 計	100						
プロセス評価	説明力、 プレゼンテーション力、 協調性	理解しやすい説明・プレゼンテーション（資料）	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 "=1 「0.4」、"=2 「0.6」 "=3 「0.8」、"=4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 ・図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 ・資料の内容が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 ・資料の要約が作成されており、容易に内容を捉えることができた。
		理解しやすい説明・プレゼンテーション（対応）	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 "=1 「0.4」、"=2 「0.6」 "=3 「0.8」、"=4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・打合せ開始時に、打合せの趣旨・目的が説明された。 ・質問に対する確かな回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 ・一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
		説明を補う努力	20	評価細目チェック数=0 「0.2」 "=1 「0.4」、"=2 「0.6」 "=3 「0.8」、"=4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。 ・説明が不十分若しくは説明当事者の説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。 ・相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 ・説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。
		円滑な業務遂行への努力【加点評価】	20	評価細目チェック数=0 「0.6」 "=1 「0.8」、"=2 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・密に業務の進捗状況等が委託者に報告されていた。 ・業務遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。
		小 計	100						

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			優 標 劣							
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2			
プロセス評価	取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性	100	評価細目フィック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・業務従事者に、責任逃れの言動は無かった。 ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 ・業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
			小計	100						
結果評価	報告書の出来ばえ	目的の達成度	40	評価細目フィック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。 ・実施計画書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 ・実施計画書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。 ・報告書の出来ばえに大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。 ・誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった若しくはミスがなかった。 ・修正が必要なミスは無かった。 ・ミスは無く、必要書類等も完備されていた。 	
		的確なとりまとめ	30	評価細目フィック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						
		ミスの有無	30	評価細目フィック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」						
		小計	100							

(4) 委託業務 (業務担当課長、工事長又は助役用)

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優 標 劣						
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」(基準点)、「0.8」、「1.0」を付与する。					<ul style="list-style-type: none"> ・当該業務の目的と内容の理解について、特に評価できるものであった。 ・当該業務に必要な情報の把握について、特に評価できるものであった。 ・当該業務に対する検討項目及び検討手法について、特に評価できるものであった。 ・当該業務の打合せ資料の内容について、特に評価できるものであった。 ・当該業務に必要とされる技術力を十分に発揮し、特に評価できるものであった。 ・その他(理由:)
		小計	100						
	取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性、倫理観	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」(基準点)、「0.8」、「1.0」を付与する。				
小計			100						

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			標準						
			優	標準	劣				
1.0	0.8	0.6	0.4	0.2					
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	検討項目、検討手法	50	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」		<ul style="list-style-type: none"> 検討項目は、実施計画書の項目を満足していた。 採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 提案された検討手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。 		
			十分な技術力	50	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」		<ul style="list-style-type: none"> 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 実施契約書に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 業務遂行段階において委託者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。 		
		小計	100						
	コミュニケーション	説明力、プレゼンテーション力、協調性	100	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」		<ul style="list-style-type: none"> 質問に対する的確な回答がなされ、一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 説明が不十分若しくは説明当事者の説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。 			
結果評価	報告書の出来ばえ	目的の達成度	40	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」		<ul style="list-style-type: none"> 実施計画書に提示された項目が、漏れなく実施された。 業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。 			
		的確なとりまとめ	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」		<ul style="list-style-type: none"> 実施計画書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 実施計画書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。 			
		ミスの有無	30	評価細目チェック数=0 「0.2」 " =1 「0.4」、" =2 「0.6」 " =3 「0.8」、" =4 「1.0」		<ul style="list-style-type: none"> 報告書の出来ばえに大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。 誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった若しくはミスがなかった。 修正が必要なミスは無かった。 ミスは無く、必要書類等も完備されていた。 			
	小計	100							

10. 評定点集計表(1) 地質調査、単純調査等業務、測量作業

評価項目	評価の視点	主任補助監督員					監督員					主任検査員					評定点 (注2)	業務評定		管理技術者 担当技術者(注1)		技術者評定 担当技術者(注1)		照査技術者 担当技術者(注1)							
		配点	得点率	得点範囲	得点	調整後の評 定点	配点	得点率	得点範囲	得点	調整後の評 定点	配点	得点率	得点範囲	得点	調整後の評 定点		評定点	加重平均点の算出		評定点	加重平均点の算出		評定点	加重平均点の算出		評定点	加重平均点の算出			
																			重み	x / 満点		重み	x / 満点		重み	x / 満点		重み	x / 満点		
専門技術力	提案力、改善力 【加点評価】	業務着手段階における業務特性等の考慮	1	20	1.0-0.6	20-12											=	x	2	/	200	x	2	/	200	x	2	/	200		
		業務遂行段階における提案	1	40	1.0-0.6	40-24																									
		業務遂行上必要となる課題の提案	1	20	1.0-0.6	20-12																									
		業務内容等改善の提案	1	20	1.0-0.6	20-12																									
	小計		100		100-60	=											=		(9.5 %)			(9.5 %)			(15.4 %)						
業務執行技術力	目的と内容の理解	20	1.0-0.2	20-4																											
	必要情報の把握	20	1.0-0.2	20-4																											
	検討項目、検討手法	20	1.0-0.2	20-4																											
	打ち合わせ資料の内容 【減点評価】	2	20/0.6	0.6-0.2	20-7																										
	十分な技術力	20	1.0-0.2	20-4																											
小計		113.3		100-23	=																										
プロセス評価	工程管理能力 【減点評価】	実施手順、工程計画	2	30/0.6	0.6-0.2	30-10																									
		実施体制	2	10/0.6	0.6-0.2	10-3																									
		打ち合わせ内容の理解、記録	2	10/0.6	0.6-0.2	10-3																									
		内部関係者への情報伝達	2	10/0.6	0.6-0.2	10-3																									
		工程管理	2	40/0.6	0.6-0.2	40-13																									
小計		166.6		100-32	=																										
品質管理 【詳細設計以外は加点評価】	ミス防止の実施	1	100	1.0-0.6	100-60																					x	2	/	200		
	小計		100		100-60	=																									
	迅速性、弾力性、調整能力 【加点評価】	当初計画の変更	1	40	1.0-0.6	40-24																									
	関連事業者間の調整	1	30	1.0-0.6	30-18																										
	地元住民との合意形成	1	30	1.0-0.6	30-18																										
小計		100		100-60	=																										
コミュニケーション	説明力、プレゼンテーション力、協調性	理解しやすい説明・プレゼンテーション (資料)	30	1.0-0.2	30-6																										
		理解しやすい説明・プレゼンテーション (対応)	30	1.0-0.2	30-6																										
		説明を補う努力	20	1.0-0.2	20-4																										
		円滑な業務遂行への努力 【加点評価】	1	20	1.0-0.6	20-12																									
小計		100		100-28	=																										
取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性	100	1.0-0.2	100-20																										
		責任感、積極性、倫理観	100	1.0-0.2	100-20																										
		小計		100		100-20	=																								
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	1.0-0.2	40-8																										
		的確なとりまとめ	30	1.0-0.2	30-6																										
		ミスの有無	30	1.0-0.2	30-6																										
		小計		100		100-20	=																								
総合評定点の算定	= の評定点の加重平均点 (注3)																21.0	/	2,100		21.0	/	2,100		13.0	/	1,300		3.0	/	300
	事故等による減点(業務遂行段階を対象とする)																														
	成果品に、受託者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点(軽微なミスの修正を除く)																														
	総合評定点= + +																														
所見 (必ず記載すること)	(主任補助監督員)					(監督員)					(主任検査員)																				
																■ は、評定対象外。 ■ は、必須評定項目。 ■ は、選択評定項目。 1 は、加点評価項目。 2 は、減点評価項目。 注: 1. 「担当技術者」はそれぞれ3人までとする。 2. 各評価項目の「業務評定」は少数第一位までとする。 3. 「=」の評定点の加重平均点は、少数第一位を四捨五入し整数とする。															

(4) 委託業務

評価項目	評価の視点	業務担当課長、工事長又は課長					業務担当課長、工事長又は課長(注1)					主任検収員					評定点(注2)	業務評定		
		配点	得点率	得点範囲	得点	調整後の評定点	配点	得点率	得点範囲	得点	調整後の評定点	配点	得点率	得点範囲	得点	調整後の評定点		評定点	加重平均点の算出	
																			重み	× / 満点
専門技術力	提案力、改善力 【加点点評価】	業務着手段階における業務特性等の考慮	1	20	1.0~0.6	20~12											=	×	2	/ 200
		業務遂行段階における提案	1	40	1.0~0.6	40~24														
		業務遂行上必要となる課題の提案	1	20	1.0~0.6	20~12														
		業務内容等改善の提案	1	20	1.0~0.6	20~12														
	小計	100	100~60	=	=														(9.5 %)	
業務執行技術力		目的と内容の理解	20	1.0~0.2	20~4												+	+	4	/ 400
		必要情報の把握	20	1.0~0.2	20~4															
		検討項目、検討手法	20	1.0~0.2	20~4															
		打ち合わせ資料の内容 【減点点評価】	2	20/0.6	0.6~0.2	20~7														
		十分な技術力	20	1.0~0.2	20~4															
小計	113.3	100~23	=	=	100	1.0~0.2	100~20	=	=	50	1.0~0.2	50~10						(19.0 %)		
プロセス評価 管理技術力	工程管理能力 【減点点評価】	実施手順、工程計画	2	30/0.6	0.6~0.2	30~10											=	×	2	/ 200
		実施体制	2	10/0.6	0.6~0.2	10~3														
		打合せ内容の理解、記録	2	10/0.6	0.6~0.2	10~3														
		内部関係者への情報伝達	2	10/0.6	0.6~0.2	10~3														
		工程管理	2	40/0.6	0.6~0.2	40~13														
小計	166.6	100~32	=	=														(9.5 %)		
品質管理能力 【詳細設計以外は加点点評価】	迅速性、弾力性、調整能力 【加点点評価】	ミス防止の実施	1	100	1.0~0.6	100~60											=	×	2	/ 200
		小計	100	100~60	=	=														
		当初計画の変更	1	40	1.0~0.6	40~24														
		関連事業者間の調整	1	30	1.0~0.6	30~18														
		地元住民との合意形成	1	30	1.0~0.6	30~18														
小計	100	100~60	=	=														(4.8 %)		
コミュニケーション力	説明力、プレゼンテーション力、協調性	理解しやすい説明・プレゼンテーション(資料)	30	1.0~0.2	30~6												+	×	1	/ 100
		理解しやすい説明・プレゼンテーション(対応)	30	1.0~0.2	30~6															
		説明を補う努力	20	1.0~0.2	20~4															
		円滑な業務遂行への努力 【加点点評価】	1	20	1.0~0.6	20~12														
		小計	100	100~28	=	=														
取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性	100	1.0~0.2	100~20												+	×	2	/ 200
		責任感、積極性、倫理観																		
		小計	100	100~20	=	=	100	1.0~0.2	100~20	=	=									
結果評価	報告書の出来ばえ	目的の達成度	40	1.0~0.2	40~8												+	×	7	/ 700
		的確なとりまとめ	30	1.0~0.2	30~6															
		ミスの有無	30	1.0~0.2	30~6															
		小計	100	100~20	=	=														
総合評定点の算定		= の評定点の加重平均点 (注3)																21.0	/ 2,100	
		事故等による減点(業務遂行段階を対象とする)																		
		総合評定点= +																		
所見 (必ず記載すること)		(業務担当課長、工事長又は助役)					(業務担当課長、工事長又は助役)					(主任検収員)					■ は、評定対象外。 ■ は、必須評定項目。 ■ は、選択評定項目。 1 は、加点点評価項目。 2 は、減点点評価項目。 注：1. 評定にあたっては、調査役、副所長及び工務課長等の意見を踏まえ評定する。 2. 各評価項目の「業務評定」は少数第一位までとする。 3. 「=」の評定点の加重平均点は、少数第一位を四捨五入し整数とする。			

最高点の場合

10. 評定点集計表(1) 地質調査、単純調査等業務、測量作業

評価項目	評価の視点	主任補助監督員					監督員					主任検査員					評定点 (注2)	業務評定		管理技術者 加重平均点の算出		技術者評定 担当技術者(注1) 加重平均点の算出		照査技術者 加重平均点の算出									
		配点	得点率	得点範囲	得点	調整後の評 定点	配点	得点率	得点範囲	得点	調整後の評 定点	配点	得点率	得点範囲	得点	調整後の評 定点		評定点	重み	x / 満点	評定点	重み	x / 満点	評定点	重み	x / 満点	評定点	重み	x / 満点				
専門技術力	提案力、改善力 【加点評価】	業務着手段階における業務特性等の考慮	1	20	1.0-0.6	20-12	20	= 100 / 10											×	2	200 / 200	×	2	200 / 200	×	2	200 / 200						
		業務遂行段階における提案	1	40	1.0-0.6	40-24	40																										
		業務遂行上必要となる課題の提案	1	20	1.0-0.6	20-12	20																										
		業務内容等改善の提案	1	20	1.0-0.6	20-12	20																										
	小計		100		100-60	= 100	= 100																										
業務執行技術力	目的と内容の理解	20	1.0-0.2	20-4	20	= 100 / 10																											
	必要情報の把握	20	1.0-0.2	20-4	20																												
	検討項目、検討手法	20	1.0-0.2	20-4	20			100	1.0-0.2	100-20	100		50	1.0-0.2	50-10	50		×	4	400 / 400	×	4	400 / 400	×	4	400 / 400							
	打ち合わせ資料の内容 【減点評価】	2	20/0.6	0.6-0.2	20-7		20																										
	十分な技術力	20	1.0-0.2	20-4	20								50	1.0-0.2	50-10	50																	
小計		113.3		100-23	= 100	= 10		100		100-20	= 100	= 50		100		100-20	= 100	= 40		= 100													
プロセス評価 管理技術力	工程管理能力 【減点評価】	実施手順、工程計画	2	30/0.6	0.6-0.2	30-10	30	= 100 / 10																									
		実施体制	2	10/0.6	0.6-0.2	10-3	10																										
		打ち合わせ内容の理解、記録	2	10/0.6	0.6-0.2	10-3	10																										
		内部関係者への情報伝達	2	10/0.6	0.6-0.2	10-3	10																										
		工程管理	2	40/0.6	0.6-0.2	40-13	40																										
小計		166.6		100-32	= 100	= 100																											
品質管理能力 【減点評価】	ミス防止の実施	1	100	1.0-0.6	100-60	100	= 100 / 10																										
	小計		100		100-60	= 100		= 100																									
	迅速性、弾力性、調整能力 【加点評価】	当初計画の変更	1	40	1.0-0.6	40-24		40	= 100 / 10																								
		関連事業者間の調整	1	30	1.0-0.6	30-18		30																									
		地元住民との合意形成	1	30	1.0-0.6	30-18		30																									
小計		100		100-60	= 100	= 100																											
コミュニケーション	説明力、プレゼンテーション力、協調性	理解しやすい説明・プレゼンテーション(資料)	30	1.0-0.2	30-6	30	= 100 / 10																										
		理解しやすい説明・プレゼンテーション(対応)	30	1.0-0.2	30-6	30			100	1.0-0.2	100-20	100		×	9	90 / 90																	
		説明を補う努力	20	1.0-0.2	20-4	20																											
		円滑な業務遂行への努力 【加点評価】	1	20	1.0-0.6	20-12		20																									
	小計		100		100-28	= 100	= 10		100		100-20	= 100	= 90		= 100																		
取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性	100	1.0-0.2	100-20	100	= 100 / 10																										
		責任感、積極性、倫理観							100	1.0-0.2	100-20	100		×	9	90 / 90																	
		小計		100		100-20		= 100	= 10		100		100-20	= 100	= 90		= 100																
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	1.0-0.2	40-8	40	= 100 / 10																										
		的確なとりまとめ	30	1.0-0.2	30-6	30			30	1.0-0.2	30-6	30		×	9	90 / 90																	
		ミスの有無	30	1.0-0.2	30-6	30																											
		小計		100		100-20		= 100	= 10		100		100-20	= 100	= 90		= 100																
総合評定点の算定		= の評定点の加重平均点 (注3)															21.0	2,100 / 2,100		21.0	2,100 / 2,100		13.0	1,300 / 1,300		3.0	300 / 300						
		事故等による減点(業務遂行段階を対象とする)																															
		成果品に、受託者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点(軽微なミスの修正を除く)																															
		総合評定点= + +																															
所見 (必ず記載すること)		(主任補助監督員)					(監督員)					(主任検査員)					■ は、評定対象外。 ■ は、必須評定項目。 ■ は、選択評定項目。 1 は、加点評価項目。 2 は、減点評価項目。 注：1. 「担当技術者」はそれぞれ3人までとする。 2. 各評価項目の「業務評定」は少数第一位までとする。 3. 「=」の評定点の加重平均点」は、少数第一位を四捨五入し整数とする。																

最低点の場合

10. 評定点集計表(1) 地質調査、単純調査等業務、測量作業

評価項目	評価の視点	主任補助監督員					監督員					主任検査員					評定点 (注2)	業務評定		管理技術者 加重平均点の算出		技術者評定 担当技術者(注1) 加重平均点の算出		照査技術者 加重平均点の算出						
		配点	得点率	得点範囲	得点	調整後の評 定点	配点	得点率	得点範囲	得点	調整後の評 定点	配点	得点率	得点範囲	得点	調整後の評 定点		評定点	重み	x / 満点	評定点	重み	x / 満点	評定点	重み	x / 満点	評定点	重み	x / 満点	
専門技術力	提案力、改善力 【加点評価】	業務着手段階における業務特性等の考慮	1	20	1.0-0.6	20-12	12	= 60 = 60											2	120 / 200		2	120 / 200		2	120 / 200				
		業務遂行段階における提案	1	40	1.0-0.6	40-24	24																							
		業務遂行上必要となる課題の提案	1	20	1.0-0.6	20-12	12																							
		業務内容等改善の提案	1	20	1.0-0.6	20-12	12																							
	小計		100		100-60	= 60	= 60																							
	業務執行技術力	目的と内容の理解	20	1.0-0.2	20-4	4	= 80 = 80																							
		必要情報の把握	20	1.0-0.2	20-4	4																								
		検討項目、検討手法	20	1.0-0.2	20-4	4																								
		打ち合わせ資料の内容 【減点評価】	2	20/0.6	0.6-0.2	20-7		7																						
		十分な技術力	20	1.0-0.2	20-4	4																								
小計		113.3		100-23	= 23	= 2																								
プロセス評価	工程管理能力 【減点評価】	実施手順、工程計画	2	30/0.6	0.6-0.2	30-10	10	= 60 = 60																						
		実施体制	2	10/0.6	0.6-0.2	10-3	3																							
		打合せ内容の理解、記録	2	10/0.6	0.6-0.2	10-3	3																							
		内部関係者への情報伝達	2	10/0.6	0.6-0.2	10-3	3																							
		工程管理	2	40/0.6	0.6-0.2	40-13	13																							
	小計		166.6		100-32	= 32	= 32																							
	品質管理能力 【減点評価】	ミス防止の実施	1	100	1.0-0.6	100-60	60	= 60 = 60																						
		小計		100		100-60	= 60		= 60																					
		迅速性、弾力性、調整能力 【加点評価】	当初計画の変更	1	40	1.0-0.6	40-24		24	= 60 = 60																				
			関連事業者間の調整	1	30	1.0-0.6	30-18		18																					
地元住民との合意形成	1		30	1.0-0.6	30-18	18																								
小計		100		100-60	= 60	= 60																								
コミュニケーション	説明力、プレゼンテーション、協調性	理解しやすい説明・プレゼンテーション(資料)	30	1.0-0.2	30-6	6	= 28 = 2.8																							
		理解しやすい説明・プレゼンテーション(対応)	30	1.0-0.2	30-6	6																								
		説明を補う努力	20	1.0-0.2	20-4	4																								
		円滑な業務遂行への努力 【加点評価】	1	20	1.0-0.6	20-12		12																						
	小計		100		100-28	= 28	= 2.8																							
取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性	100	1.0-0.2	100-20	20	= 20 = 2																							
		責任感、積極性、倫理観	100	1.0-0.2	100-20	20																								
小計		100		100-20	= 20	= 2																								
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	1.0-0.2	40-8	8	= 18 = 20																							
		的確なとりまとめ	30	1.0-0.2	30-6	6																								
		ミスの有無	30	1.0-0.2	30-6	6																								
		小計		100		100-20		= 20	= 2																					
総合評定点の算定		= の評定点の加重平均点 (注3)															21.0	644 / 2,100	21.0	644 / 2,100	13.0	340 / 1,300	3.0	140 / 300						
		事故等による減点(業務遂行段階を対象とする)																												
		成果品に、受託者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点(軽微なミスの修正を除く)																												
		総合評定点= + +																												
所見 (必ず記載すること)		(主任補助監督員)					(監督員)					(主任検査員)					■ は、評定対象外。 ■ は、必須評定項目。 ■ は、選択評定項目。 1 は、加点評価項目。 2 は、減点評価項目。 注：1. 「担当技術者」はそれぞれ3人までとする。 2. 各評価項目の「業務評定」は少数第一位までとする。 3. 「=」の評定点の加重平均点は、少数第一位を四捨五入し整数とする。													